

臨床検査医学科

● スタッフ（2020年10月1日現在）

診療科長 木内 英
医局長 四本 美保子
病棟医長 村松 崇
外来医長 萩原 剛

医師数 常勤 15名
非常勤 2名

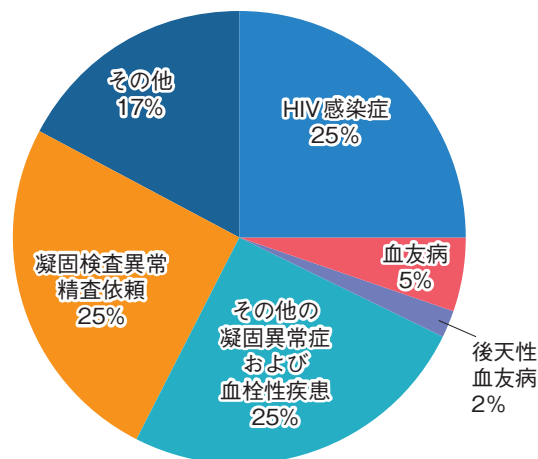
● 診療科の特徴

血栓止血異常、HIV 感染症、輸血診療を専門とする。血友病では関節内出血、筋肉内出血、脳出血などの出血予防と止血管理、または手術にともなう止血管理をおこなう。血友病性関節症は整形外科やリハビリテーション科とともに診療している。血友病保因者の遺伝相談と研究レベルの遺伝子解析検査も行っている。血友病 A に対するⅧ因子代替抗体製剤の皮下注射の導入を行っている。新規血友病治療製剤の治験を行っている。血友病以外の先天性凝固止血異常、後天性凝固止血異常も対象疾患である。HIV 感染症は診断された患者を対象としている。2020 年度の新規患者は 72 人であり、現在約 1,500 人が通院している。HIV/AIDS 関連性疾患としてはニューモシスティス肺炎、サイトメガロウイルス感染症、カポジ肉腫、非ホジキンリンパ腫、非結核性抗酸菌症など。輸血診療としては主に各科の術前自己血貯血を行っており、年間 717 件対応している。

● 診療体制と実績

2020 年度外来初診患者は 556 人。自己血貯血初診 265 人を除いた初診患者の内訳は HIV 感染症 72 人、血友病 16 人および血友病保因者 1 人、後天性血友病 5 人、その他の凝固異常症および血栓性疾患が 74 人、凝固検査異常精査依頼が 73 人、その他が 50 人であった。2020 年度主科入院件数は 78 件。内訳は HIV 感染症が 38 人（血友病合併 1 人）、血友病を代表とする先天性凝固異常症が 22 人、後天性血友病を代表とする後天性凝固異常症が 7 人、その他が 11 人であった。

2020 年度外来初診内訳
(自己血貯血を除く)



2020 年度入院診療内訳

